

令和7年度保護者説明会 質疑応答一覧

No,	担当所管	質問内容	回答
1	グローバル推進室 キャリア支援担当	学校の海外研修支援プログラムの利用方法を教えて下さい。	【グローバル推進室回答】 本学には、滞在期間が1ヶ月程度の短期留学プログラムから、1年間の長期留学プログラムまで、様々な公式プログラムがあります。 各種プログラムについては、当日配布するパンフレット「ヨコハマから世界へ 横浜市立大学 海外留学・研修プログラム」をご覧ください。（下記URLでもご覧いただけます。） https://www.yokohama-cu.ac.jp/ytog/global/overseas_study/dr3e64000001lmr2-att/YCU_ryugaku_pamph_2025.pdf 短期留学プログラムは、本学が定める英語能力の水準を満たしていれば誰でも参加することができますが、長期留学プログラムは、学業成績・語学能力・志望理由書などによる選考を実施し、合格者が参加できます。募集時期は各プログラムで異なりますので、興味のある学生には、本学のホームページやYCU-Board（学生用オンライン掲示板）、また学内説明会等で募集情報を適宜確認するようにお願いしています。 【キャリア支援担当回答】 キャリア支援センターでは、海外の企業等で就業体験の機会として「海外キャリア教育プログラム」を、夏季・春季の年2回実施しています。 ・対象学年：夏季 学部2年生、春季 全学年 ・渡航期間：約4週間 ・プログラム内容：仲介業者を通して実施するプログラムです。語学力や志望業種等に応じて受入れ先を選ぶことができます。詳細は、渡航の約4か月前に開催される説明会でご確認いただけます。 ・費用：プログラム本体の費用は概ね40万円～50万円程度です。これに加え、航空券代、海外旅行保険料などの実費が別途必要となります。※費用は渡航先やプログラム内容により異なります。 ・費用面でのサポート：渡航先に応じた金額の補助金・助成金制度があります。収入基準は設けておりません。ただし、後援会への加入が支給の条件となります。また、所定の期間内に必要な手続きが完了していない場合は減額または支給対象外となる可能性がありますので、あらかじめご留意ください。
2	総務課庶務担当	災害時について。 特に、地震（津波）発生時の対策などございましたら教えていただけると安心です。 よろしくお願い申し上げます。	本学では、災害発生時に学生・教職員の安全を確保するため、安否確認システム「オクレンジャー」を導入しております。 横浜市内で震度5強以上の地震が発生した場合や、その他の災害時には、大学が交付しているYCUメールまたはオクレンジャー専用アプリを通じて、学生に緊急メッセージを配信し、安否確認を行います。 災害時にはメールの遅延が予想されるため、スマートフォンをお持ちの学生には、アプリの登録を推奨しております。アプリはサーバーと直接通信するため、災害時でも安定した情報受信が可能です。 また、本学では危機管理対策の一環として、学生向けに「大地震対応マニュアル」を作成しています。このマニュアルには、地震発生時に取るべき行動や、各キャンパスの避難場所など、必要な情報を掲載しており、本学学生専用システム「YCU-board」にて公開しています。さらに、防災の心得を掲載した「YCU Campas Guide Book2025」をオリエンテーションにて配布し、周知を図っています。
3	キャリア支援担当	交換留学した場合（3年生で）の就職活動について詳しく教えていただきたいです	学部3年次以降に留学する場合も、就職活動を進めることは可能です。 ただし、留学の時期や期間によっては、日本の就職活動のスケジュールと重なり、希望する企業の説明会や選考に対面で参加することが難しくなる場合があります。昨今は、オンラインによる説明会や面接の機会が増えており、留学中でも情報収集や選考への参加が可能です。実際に、海外で開催される留学生向けキャリアフォーラムへの参加や、オンライン面接を通じて内定を得る事例も多数あります。 こうした機会を逃さず活用するためにも、大学主催のイベントや外部機関によるセミナー・フォーラムなどを積極的に活用することをおすすめします。 10月1日（水）には「留学とキャリア セミナー～留学経験のキャリアへの活かし方～」を開催しました。現在オンデマンド配信を行っておりますので、留学と就職活動の両立に関心のある方は、ぜひご視聴ください。 また「どのようなイベントに参加すればよいか」「留学中の就職活動をどう進めればよいか」など、個別の状況に応じたご相談も可能です。キャリア支援センターやグローバル推進室をぜひご利用ください。
4	グローバル推進室 キャリア支援担当	留学で想定される費用	【グローバル推進室回答】 想定される留学費用については、各プログラムで異なります。また、昨今の円安基調や物価高により、航空券や宿舍費用が高騰しているため、今後想定される留学費用の目安をお示しすることが難しい状況です。ご参考までに、過去のプログラム費用を実績・目安としてお示しいたします。（※各プログラムの参加には、本学が指定する保険への加入代金が別途必要となります。） ・「第2クォータープログラム」 イギリス ダブリンシティ大学（2025年6月14日～7月13日に参加の場合） 合計金額：約74万円【内訳 語学研修費用・滞在費：約48万円 航空券代金：約26万円】 ・「夏季短期研修プログラム」 アメリカ サンディエゴ州立大学（2025年8月13日～9月13日に参加の場合） 合計金額：約92万円【内訳 語学研修費用・滞在費：約57万円 航空券代金：約35万円】 ・「長期交換留学プログラム」（2024年度帰国学生の情報による） イギリス「ド・モントフォート大学」へ交換留学の場合 ・航空券費用（往復）約30万円 ・生活費（※1ヶ月あたりの費用）約17万円 【内訳 学生寮費用：約7万円 生活費：約10万円（食費・交通費・娯楽費など）】 長期交換留学プログラムについては、ホームページに掲載している各学生の留学レポートも、具体的な生活費等の参考になりますので、ご覧ください。 https://www.yokohama-cu.ac.jp/ytog/global/overseas_study/reports2024.html 【キャリア支援担当回答】 海外キャリア教育プログラム本体の費用は概ね40万円～50万円程度です。これに加え、航空券代、海外旅行保険料などの実費が別途必要となります。※費用は渡航先やプログラム内容により異なります。

令和7年度保護者説明会 質疑応答一覧

No,	担当所管	質問内容	回答
5	グローバル推進室	留学に行かせたいのですが、申し込みの流れが知りたいです。特に大学からの案内はないですね？保護者も一緒に話をさせていただく事は出来ますか？	上記1も参照ください。 本学には、様々な公式プログラムがあり、各プログラムの募集は、本学のホームページやYCU-Board（学生用オンライン掲示板）を通じて実施しております。保護者の方は、ホームページで募集情報をご確認いただくことができます。 また、本学では留学についての個別相談を実施しております。保護者の方にも一緒に相談いただくことも可能です。学生を通じてメールや以下のURLの「個別相談会予約フォーム」から相談予約をしてください。 https://www.yokohama-cu.ac.jp/ytog/global/overseas_study/information.html
6	グローバル推進室	お世話になっております。 留学制度について伺いたいです。 学校からの助成金や外部助成金について伺えると助かります。	上記1、4、5も参照ください。 本学では、公式プログラムで留学する学生に対して、様々な経済的支援制度があります。以下は、令和7年度に提供されている奨学金制度の例です。（※支給額及び支給条件は、今後変更となる可能性があります。全ての奨学金を併給できるわけではありません。） (1)本学からの補助金 [支給総額] 短期留学：最大4万円、長期留学：最大12万円 (2)後援会助成金（対象者：後援会加入者） [支給総額] 短期留学：最大4万円、長期留学：最大12万円 (3)100周年記念プロジェクトへの寄付金を原資とした奨学金 詳細については以下のURLをご確認ください。 https://www.yokohama-cu.ac.jp/ytog/global/overseas_study/ycu100scholarship.html (4)日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）（対象者：成績要件等の一定条件を満たした長期交換留学プログラム参加者） [支給月額] 北米・ヨーロッパ地域（一部地域を除く）：11万円 ハンガリー・ポーランド・韓国・オーストラリアなど：9万円 台湾・メキシコ：8万円 (5)民間団体の奨学金（※各団体で選考が実施されます。） <例：業務スーパードリーム財団奨学金に合格した長期交換留学プログラム参加者の場合> [支給月額] 北米・ヨーロッパ地域（一部地域を除く）：20万円 ハンガリー・ポーランド・アジア地域など：15万円 ※別途、留学一時金（15～25万円 ※支給額は地域によって異なります）が1回支給されます。 その他の公的機関や財団による奨学金制度等については、下記URLをご参照ください。 https://www.yokohama-cu.ac.jp/ytog/global/overseas_study/scholarship.html
7	キャリア支援担当	地方への就職活動希望する人への対応。また、面接等アドバイスを個別対応はどこまでしてくれるのか教えていただきたいです。また、インターンに参加しないと実際就職活動は厳しいのか。	・地方への就職（Uターン・Iターン）を希望する場合、キャリア支援センターの「UIターン就職関連情報コーナー」で最新情報を確認することができます。また、本学以外の13大学と協定締結している「就職支援パートナーシップ制度」において、提携大学の求人情報閲覧や合同企業セミナー参加等、就職支援サービスの利用も可能です。 ・就職支援の取組としては、年間約100件の就職支援イベントや講座による知識・情報提供の他、キャリアコンサルタントが1対1で相談に応じる「キャリア相談」により、自己PRやエントリーシートの添削、面接対策などの実践的な支援を行っています。 ・インターンシップに参加しないと、就職活動が必ずしも不利になるわけではありません。ただし、企業によってはインターンシップへの参加が早期選考の条件となっている場合もあるため、志望企業や業界の選考方針を事前に把握しておくことが重要です。 キャリア支援センターでは、就職支援ナビサイト等から講師を招き、インターンシップの目的や選考の流れなどについて、最新動向を踏まえたセミナーを開催しています。ぜひご参加いただき、より納得感のある進路選択につなげていただければと思います。そういった意味では、インターンシップに参加することにより、仕事や企業の選択肢が広がるだけでなく、本選考前に面接やグループワークに慣れておくことができるため、就職活動のスタートをスムーズに切ることができる可能性が高まります。
8	総務課庶務担当	先日、津波警報が発令されましたが、津波を想定した避難場所・建物や非常食などは学内に準備されているのでしょうか？	先日は、東京湾内湾に津波注意報が発令されましたが、津波警報が発令された場合、速やかに各校舎等の3階以上を目安に避難することとしております。警報が発令された際には、安否確認システムや非常放送設備を活用し、3階以上に避難するように周知をします。 また、非常食等については、学生・教職員に帰宅困難者が発生することを想定して備蓄しております。主な備蓄品としては、水、非常食、簡易トイレ、簡易寝袋、ブランケット、生理用ナプキンなどがあり、災害時に必要な最低限の物資を確保しています。
9	グローバル推進室	看護学科の学生の留学について質問です。必須科目もあるので長期留学の場合は、国家試験もあるので在学期間を延ばすことなく卒業は可能でしょうか。具体的に参加可能次期などもおしえてください。	看護学科の場合は、交換留学での取得単位交換ができないので、1年留学するのであれば卒業は1年延びる形になります。看護とは関係なく自分の興味のあるものを留学中に学んでもらい、帰国後に看護の勉強に励む方が大半です。 短期留学に参加する場合、時期は医学課国際化担当に確認してください。今年から4年生のカリキュラム変更があったので第2クウォータープログラム等で比較的自由に海外に行けるようになっています。
10	グローバル推進室	奨学金と海外留学の獲得のタイミングについて質問です。奨学金が不採択だった場合、留学を見送ることが出来ますか？	海外留学（長期）の場合は、交換留学先が決まってから奨学金に応募するケースが多いようです。民間の奨学金制度が多数あるので、交換留学への応募を検討している段階から情報収集すると共に応募の準備を進めてください。 本学で実施している交換留学プログラムは、派遣先大学との信頼関係に基づいて実施しているため、合格後に奨学金を受け取れなかったという理由での辞退はご遠慮していただきますようお願いいたします。 なお、日本学生支援機構の海外留学支援制度（協定派遣）奨学金については、今年度97人分約9,300万円確保したので、交換留学が確定し、条件を満たしている方には全員支給しました。ただし、今後については機構からの配分額次第ですので支給人数については未確定です。

令和7年度保護者説明会 質疑応答一覧

No,	担当所管	質問内容	回答
11	キャリア支援担当 教務担当	キャリア支援センターとして学部生のスタートアップ支援のような機会は設けてますか？	【キャリア支援担当回答】 キャリア支援センターとして、学生向けにスタートアップ支援制度は設けていません。昨今は「起業を目指したい」「スタートアップ企業に就職したい」といった多様な進路希望が寄せられるようになっておりますので、個別のキャリア相談（マンツーマン面談）を通じて、一人ひとりのニーズに応じた支援を行っています。また、スタートアップ企業に特化したインターンシップを提供している学外団体もあります。キャリア支援センターから、そうした外部の機会をご紹介しますこともあります。起業やスタートアップに関心のある方は、ぜひキャリア支援センターのキャリア相談等をご活用ください。 【教務担当回答】 本学では、起業プロセスを身に着けることを目的とした領域横断プログラム型「企業家育成プログラム」が設置されています。また、神奈川経済同友会が主催する神奈川産学チャレンジプログラムに参加しています。このプログラムは、神奈川県内に拠点を持つ大学と神奈川経済同友会の会員企業・団体が協働し、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペです。このプログラムは、PBL（Problem Based Learning）の手法を応用し、企業が抱える経営課題をテーマに対して学生チームが自主、能動的に研究して実践的で実効性のある解決策を研究レポートとして提示するもので、実社会で発生している問題に具体的に取り組むことにより、問題解決能力の高い人材の育成につながります。企業と学生とが1つのテーマに沿って交流を持ち、意思疎通を図ることにより、就職等でのミスマッチの防止につながり、学生にとっては生きたビジネスの世界を知り得る機会にもなっています。
12	教務担当	2年生までにPE600を取得しないと3年に進級できないと思うのですが、何月までに取得しておく必要があるのでしょうか	本学では、Practical English（以下、PE）という授業の単位を取得することを医学部の学生（※看護学科については別途条件設定あり）は2年生、それ以外の学部においては3年生への進級要件としております。PEの単位を取得するためには以下の要件を満たす必要があります。 1. 3つのクラス（1年PE例：月1限・水2限・金1限）それぞれ、80%以上の出席率及び小テスト等 2. 期末試験 TOEFL-ITPを受験 3. 期末試験 TOEFL-ITPで500点以上取得、もしくはPE合格となる外部試験（期末試験以外の学内開催TOEFL-ITP・TOEIC L&R・英検など）のスコアを取得し、決められた期間に申請し、PEセンター長に承認されること “PE600”という表記はおそらく、外部試験のうちTOEIC L&Rのスコアを要件として用いる場合に、600点を必要とすることを念頭に置いたものと理解しております。 後期における外部試験のスコアの申請の最終締め切りは例年2月中旬としており、今年度は2月18日を予定しています。外部試験のスコアでPEの単位を修得するためには、このタイミングまでにスコア原本を提出できるスケジュールの外部試験で基準スコアを取得していただく必要があります、 なお、学内で開催するTOEFL-ITPを活用する場合には、学期中のスコア申請は不要となります。例年1月の期末試験の他12月と2月に実施されており、年度中最後の実施は例年2月中旬（今年度は2月14日）となっています。
13	アドミSSION	大学院に進むか、就職するかで迷っている場合ですが、仮に大学院に進む場合は、いつまでに何を準備して申し込みの期限等はいつになりますでしょうか。1年間の大学院の費用はいくらぐらいになりますでしょうか。	大学院の入試時期や学費は、研究科によって異なります。詳細につきましては、以下のリンクよりご確認ください。 ◎大学院入試情報（出願期間・試験日程・募集要項など） https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/graduate/admis_index.html ◎大学院の学費について（入学金・授業料など） https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/graduate/cost.html 学部入試と同様に、各入試には出願期間が設定されています。出願期間内に願書を提出できるよう、余裕を持って準備を進めてください。 なお、各研究科・専攻では毎年入試説明会を開催しています。大学院進学をご検討中の方は、まずは説明会にご参加いただくことをおすすめします。
14	アドミSSION	大学院への進学に関する主なスケジュールを教えてください。	大学院の入試やイベントに関する情報は以下のURLに集約しておりますので、ご確認ください。 ◎大学院入試情報 https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/graduate/
15	キャリア支援担当	就職活動について先ほどの国際商学部の方は夏秋冬で30社のインターンを経験しておりましたが、大学の授業はどうされていたのでしょうか。それまでに単位をだいたい取得してないと多くのインターン(3-5day)に参加できないかと思いますがどう対応されていたのでしょうか。	下記19もご参照ください。 インターンシップへの参加状況は学生によって異なり、履修スケジュールや単位取得の進捗状況も一人ひとり異なります。そのため、インターンシップと授業の両立方法も様々です。キャリア支援センターでは、授業に支障が出ないよう、インターンシップは夏季・冬季などの長期休暇期間中の参加を推奨しています。特に複数のインターンシップに参加するには、事前に計画的な履修を行い、ある程度単位を取得しておくことが重要です。早期から履修計画を立てて単位を確保し、長期休暇を活用して多くのインターンに参加している学生もいます。インターンシップへの参加を検討される際は、キャリア支援センターでのキャリア相談を通じて、参加計画についてのアドバイスを受けることも可能です。ぜひご活用ください。
16	キャリア支援担当	キャリア相談は、予約制だと思いますが、何年生から利用可能ですか？やはり3年生からでしょうか？	キャリア相談は事前予約制で、学部1年生からご利用いただけます。 予約は、市大生のための就活ナビサイト「YCUキャリアナビ」から行っていただきます。早い段階から進路について考えたり、情報収集を始めたりすることは、将来の選択肢を広げるうえでも非常に有効です、是非ご活用ください。
17	キャリア支援担当	3年生から交換留学に行った場合、就職活動はどのようにになりますか。	3の回答をご参照ください。
18	グローバル推進室	1、留学先で事件事故に巻き込まれた実例はありますか？ 2、留学満期末満で帰国した場合の扱い	1、大学を通じて海外留学する場合、海外留学生安全対策協議会(JCSOS)という団体が提供する海外危機管理サポートデスク(J-TAS)に加入頂きます。海外留学保険は東京海上日動火災保険株式会社に加入します。J-TASは加入者とその保護者が365日・24時間、日本語で相談できるサービスです。左記の内容を含め、様々な相談ができます。詳細は以下のページをご確認ください。https://www.jcsos.org/traveler/j-tas/way コロナ禍以降に留学した学生で、大きな事件事故に巻き込まれた事例はありません。 2、コロナ禍などやむを得ない事情で留学を中止し帰国した場合は、最大限学びの機会を提供できるよう検討します。自己都合の場合は大学のルールに基づきます。

令和7年度保護者説明会 質疑応答一覧

No,	担当所管	質問内容	回答
19	キャリア支援担当	平均的なインターンエントリー数と実際にインターン参加した数はどのくらいですか。 インターンは夏休みのイメージが多いですが、秋冬もインターンは多いですか。	上記15もご参照ください。 就職ナビサイトによる調査では、インターンシップへの平均エントリー数は約10社、実際の参加社数は約5社とされています。本学学生を対象としたアンケート調査でも、同様の傾向が見られますが、エントリー数や参加状況は学生によって大きく異なります。 インターンシップは、夏季休暇中の実施が最も多い傾向にありますが、秋・冬にも多くの企業が実施しており、年間を通じて参加の機会があります。特に秋冬は、業界研究や企業理解を目的とした短期インターンが増えており、就職活動の準備段階として活用する学生も多く見られます。
20	大学生生活協同組合	横浜国立大学の生協で利用できる電子マネーが、学食マネーと生協マネーに分かれているようですが、使用目的別で分かれているのが使いづらいと子どもが言っているのですが、一本化できたりしないのでしょうか？	ご意見いただきありがとうございます。 現在、学食マネーは学食専用、生協マネーは生協全店舗でご利用いただけます。 学食マネーは、しっかりと昼食を食べて欲しいとの声から、食事専用の仕送りとしてご活用いただいている保護者様もいらっしゃいます。 そのため、すぐに変更する事は難しい状況ですが、今後検討させていただきます。
21	グローバル推進室	8月に実施されたIELTS試験を帰省で受験できなかったのですが100周年記念事業のIELTS受験料免除の枠はまだ残っているのでしょうか。	IELTSの無料試験はYCU100募金への寄附金を原資に実施しました。今後の寄附金の集まり次第ではありますが、毎年1回は実施できるよう検討しています。なお令和6年度は無料受験者は80名でしたが、令和7年度は100名を無料にしました。
22	アドミSSION	対面でのオーキャンを希望します。大学選びの際、他大学に比べて非常に閉鎖的な印象をもちました。大学を肌で感じる事が出来ないため、選択肢からどんどん外していく友人が多かったです。 地方からの参加者も多く効率的という意見もあるようですが、ぜひ対面でのオーキャン開催を希望します。大学の魅力が伝わらず、歯がゆいです。	新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけにオープンキャンパスを対面形式からオンライン形式に変更しています。 オンライン形式は遠方にお住いの方でも参加しやすい点や、対面形式に比べて質問がしやすいという好意的なご意見も寄せられています。コロナ以前は、夏休み期間である8月に対面形式でオープンキャンパスを開催しておりましたが、特に近年は35℃以上の酷暑となり屋外活動が制限されている状況下で、定員オーバーでイベントに参加できないケースや、熱中症などで体調を崩される方もいらっしゃいました。これらの状況を踏まえ、現在では8月のオープンキャンパスはオンライン形式で実施しております。 一方で、対面形式のイベントとしては、例年6～7月には、平日の大学の様子をご覧いただける「ウィークデイキャンパスツアー」を約20回開催しており、キャンパスツアー、学部・入試説明、個別相談などを通じて、参加者の皆様にご好評いただいております。他にも、対面とオンラインを併用したミニ・オープンキャンパスを12月と3月に実施しております。また、医学部受験生を対象に福浦キャンパスで「医学科・看護学科ミニ説明会」を5～7月頃に4回程度実施しているほか、理学部受験生を対象にした「オープンラボ」、看護学科受験生を対象にした「夏のキャンパス見学」等、学部・学科単位で可能な限り対面形式のイベントを開催しています。
23	グローバル推進室 キャリア支援担当	3年時で長期留学された学生の帰国後の就職活動の仕方や内定の様子などを知りたいのですが、インターンシップ等もできず、就職率は、低いのでしょうか？	【グローバル推進室回答】教員免許状の取得を希望する学生や理・DS学部の学生は、3年生以降に留学すると卒業研究の関係で4年間での卒業は難しいため、5年目での就職活動になると思います。その他学部については、3年生以降に留学した場合、海外で開催される留学生向けキャリアフォーラム等への参加や、オンラインでの面接等で就職先を確定している事例が多数あります。3年次で留学する学生と2年次で留学する学生は半々くらいの割合です。一方で、しっかりと就職活動をしたいので5年間での卒業を選択する学生も数名います。 上記3もご参照ください。 【キャリア支援担当回答】学部3年次以降に留学する場合でも、就職活動を進めることは可能です。ただし、留学の時期や期間によっては、日本の就職活動のスケジュールと重なり、希望する企業の説明会や選考に対面で参加することが難しくなる場合があります。昨今は、オンラインによる説明会や面接の機会が増えており、留学中でも情報収集や選考への参加が可能です。実際に、海外で開催される留学生向けキャリアフォーラムへの参加や、オンライン面接を通じて内定を得る事例も多数あります。 就職率が一律に低くなるということではなく、留学中の行動や準備次第で十分に希望する進路を実現することができます。キャリア支援センターでは、留学を経験した学生の就職活動についても個別に相談を受け付けておりますので、ぜひご活用ください。
24	グローバル推進室	留学支援として奨学金利用を考えています。 はまぎんGLOBAL Challengeなどの奨学金の書類作成はグローバル推進室でサポートいただけますでしょうか？	大学を通じて応募する外部奨学金等に応募するはグローバル推進室でサポートします。他方、はまぎんGLOBAL Challengeは大学内で選考を実施するため、個別の書類作成等のサポートはできません。
25	アドミSSION キャリア支援担当	文系で大学院に進学した場合、どのようなスケジュール(学業、就職など)になりますか？	【アドミSSION課回答】 本学の大学院（文系）は、都市社会文化研究科と国際マネジメント研究科が該当します。博士課程前期の入試スケジュールは以下の通りとなっております。（2026年度入試の場合） ◎都市社会文化研究科【博士前期】 ※詳細は https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/graduate/urban/toshi_youko.html 学内推薦【募集人員若干名】：（出願期間）8/4～8/6、（試験日）9/20、（合格発表）10/3 第1期【募集人員10名】：（出願期間）8/4～8/6、（試験日）9/20、（合格発表）10/3 第2期【募集人員10名】：2026年1/5～1/7、（試験日）2026年2/7、（合格発表）2026年2/20 ◎国際マネジメント研究科-博士前期 ※詳細は https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/graduate/int_manage/manage_youko.html 学内推薦【募集人員3名】：（出願期間）8/4～8/6、（試験日）8/29、（合格発表）9/5 5年一貫【募集人員3名】：（出願期間）8/4～8/6、（試験日）8/29、（合格発表）9/5 第1期【募集人員14名】：（出願期間）9/8～9/10、（試験日）10/8、（合格発表）10/24 第2期【募集人員若干名】：2026年1/5～1/7、（試験日）2026年2/6、（合格発表）2026年2/20 【キャリア支援担当回答】 文系大学院生の就職活動は、1年（修士前期課程）の夏頃から準備を始め、2年の春に本格化するのが一般的です。就職活動のスケジュール自体は学部生と大きくは変わりませんが、研究との両立が求められるため、早めの行動が重要になります。就職先が決まった後は、学位論文の執筆に集中する学生が多く見られます。 キャリア支援センターでは、大学院生向けのキャリア相談枠も設定しています。研究との両立を意識した就職活動の進め方等もご相談に応じられます、ぜひご活用ください。

令和7年度保護者説明会 質疑応答一覧

No,	担当所管	質問内容	回答
26	キャリア支援担当	就職が4年の早い時期に決まった学生さんはその後はどのような学生生活を送られているのですか？	就職活動を早期に終えた学生の卒業までの過ごし方は、学生によって様々です。卒業論文の提出に向けて研究や執筆に集中するほか、課外活動やボランティア、海外でのインターンシップ等に参加するなど、卒業後の社会人生活を見据えて自分を高める時間として活用しているケースも多く見られます。早期に進路が決まることで、残りの学生生活をより主体的に過ごすことができるため、キャリア形成に向けた準備期間として有意義に活用している学生が多い印象です。
27		ゲームチェンジャーとは、どのような意味でしょうか？	「革命的」「画期的」「流れを変える」「状況（社会）を一変させる」などの意味で使用しています。
28	グローバル推進室	交換留学で業務スーパー奨学金合格し、さらにJASSO奨学金も併せて利用できるのでしょうか？できるのであればいつまでに申し込みをすればよいのですが？	奨学金の併給要件や申込時期については、各奨学金の支給条件等を確認してください。業務スーパー奨学金とJASSOの海外留学支援制度（協定派遣）奨学金の併給は不可です。JASSOの海外留学支援制度（協定派遣）奨学金については、本学で募集するため、応募時期等については交換留学合格者に直接お知らせします。
29	グローバル推進室	教職の単位を取る予定です。10ヶ月の長期留学をすると、4年で全ての単位をとることは可能でしょうか。	教職を取る場合には、介護体験や教育実習などもあるため、長期留学をした場合に4年間で卒業することはかなり難しいです。具体的には教職説明会で説明していますが、必ず事前にグローバル推進室に相談してください。
30	大学生生活協同組合	学食を長期休みもやってほしいです。一人暮らしには、この物価高対応できません。よろしくお願いします。	ご意見いただきありがとうございます。 現在、学食は大学の窓口閉室日（お盆、年末年始）を除き、夏休みや春休みもほぼ営業しております。 ぜひご利用いただけますと幸いです。 生協の営業時間は下記URLから確認できますのでご参照ください。 https://www.univcoop.jp/ycu/news_4/news_detail_211025.html
31	キャリア支援担当	Uターン就活方法教えてください	上記7も参照ください。 Uターン就職は、地域によっては首都圏や大都市と比べて企業数が限られている場合もありますが、地元企業で優秀な人材を求める動きも強まっており、地元出身の学生を積極的に採用するケースもあります。 本学では、キャリア支援センターの「UIターン就職関連情報コーナー」で最新情報を確認することができます。また、本学以外の13大学と協定締結している「就職支援パートナーシップ制度」において、提携大学の求人情報閲覧や合同企業セミナー参加等、就職支援サービスの利用も可能です。 昨今では、WEBを活用した情報収集や、オンラインによる説明会・選考への参加が可能なケースも増えており、これらを活用することも非常に有効です。 就職活動を円滑に進めるために、キャリアカウンセラーによる個別相談やアドバイスも行っておりますので、ぜひキャリア支援センターをご利用ください。 ※就職支援パートナーシップ制度 https://www.yokohama-cu.ac.jp/career_dev/career/partnership.html